


《議題 1》

統合新病院整備工事の進捗状況について

1. 土壌汚染の状況及び開院時期の見直し

(1) 西棟工事エリアの調査結果

- 旧医局棟・旧外来検査棟解体に併せ、西棟工事エリアの土壌汚染調査を実施
- 基準不適合区画：36区画（西棟工事エリア）右図参照
- 基準不適合有害物質：ふっ素および一部の区域に砒素・鉛

兵庫県による
区域指定

➤ 汚染の摂取経路がなく、健康被害が生ずる恐れがないことを確認

➤ 兵庫県から「形質変更時要届出区域」に指定

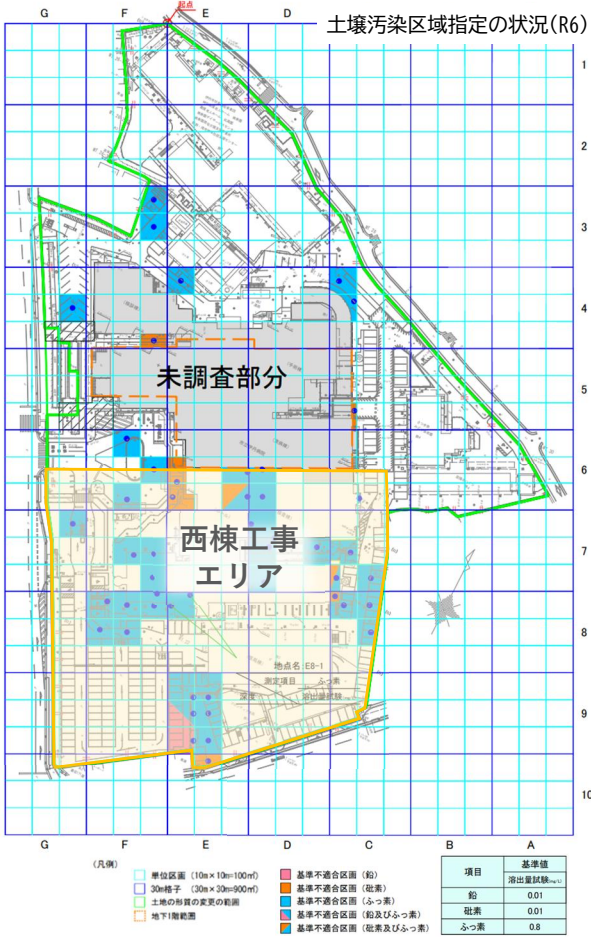
対策と
影響

➤ 当初設計時の想定汚染土量と比較して約7.6倍

➤ 西棟工事エリアの汚染土量 約16,000m³(最大深度約8.5m)の適切な処理

➤ 想定以上の汚染土量が確認され、大規模な対策工事が必要

➤ 土壌汚染対策工事による開院時期等の見直し



(2) 開院時期等の見直し後のスケジュール

年度	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
基幹病院 (西棟整備工事)	土壌汚染対策の影響を受けて 地下工事の工期が延長				令和9年度後半の 基幹病院開院をめざす	
健康管理施設 (東棟改修)		土壌汚染対策工事完了			令和10年度前半の 健康管理施設オープン をめざす	
連絡棟						
解体工事						
駐車場工事 (グランドオープン)					令和11年度前半の 統合新病院グランド オープンをめざす	

2. 対策工事などの要因による事業費への影響

1. 土壌汚染対策工事における事業費への影響

① 事業費の増高

- A) 土壌汚染対策工事費の増高
- B) 工期延長による工事費の増高
- C) スライド条項適用時残工事費の拡大 など

② 工期延長による財源への影響

A) 補助金

【国】病床機能再編統合支援事業 約 5.5億円 令和8年度末まで
【県】医療機関再編統合等支援事業 約27.2億円 令和8年度末まで

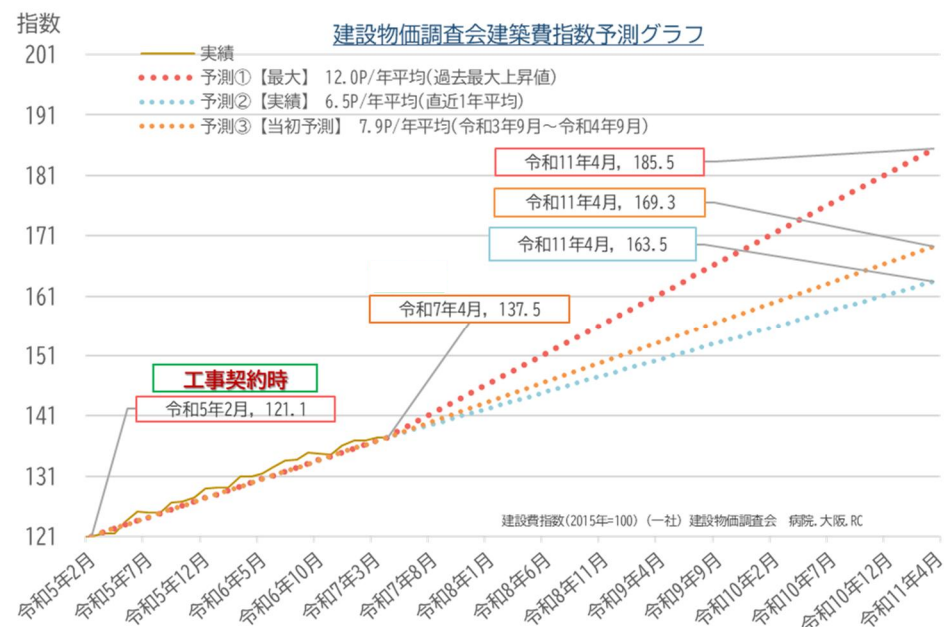
B) 病院事業債

【国】再編ネットワーク債 令和9年度末まで

方向性・課題

- ▷ 対策工事による事業費増高を約20億円と想定
- ▷ 工事受注者と事業費や工期への影響の縮減に向けた検討・協議
- ▷ 土壌汚染対策工事については、令和6、7年度の2ヵ年を想定
- ▷ 令和6年度分は、令和7年3月議会において、約9.9億円予算化済
- ▷ 事業費に与える影響の精査、財源確保に向けた国・県への継続的要望

2. スライド条項適用による工事費の増高の見込



- ▷ 建築費指数の伸びや土壌汚染対策工事の実施に伴う工期延長による残工事費の増加などを要因として、スライド条項適用により、令和7年度については、工事費が約16億円増額

3. 今後の懸案事項

① 建設工事価格のさらなる高騰の可能性

- A) 労務コストの上昇
- B) 資材コストの上昇
- C) 設備工事費の上昇 など
 - ▷ 労働者の処遇改善等による労務単価の伸び率の増加や世界情勢不安・インフレ等による資材・輸送コストの継続的な高騰などにより、建設工事価格のさらなる高騰の可能性あり

② 医療機器価格のさらなる高騰の可能性

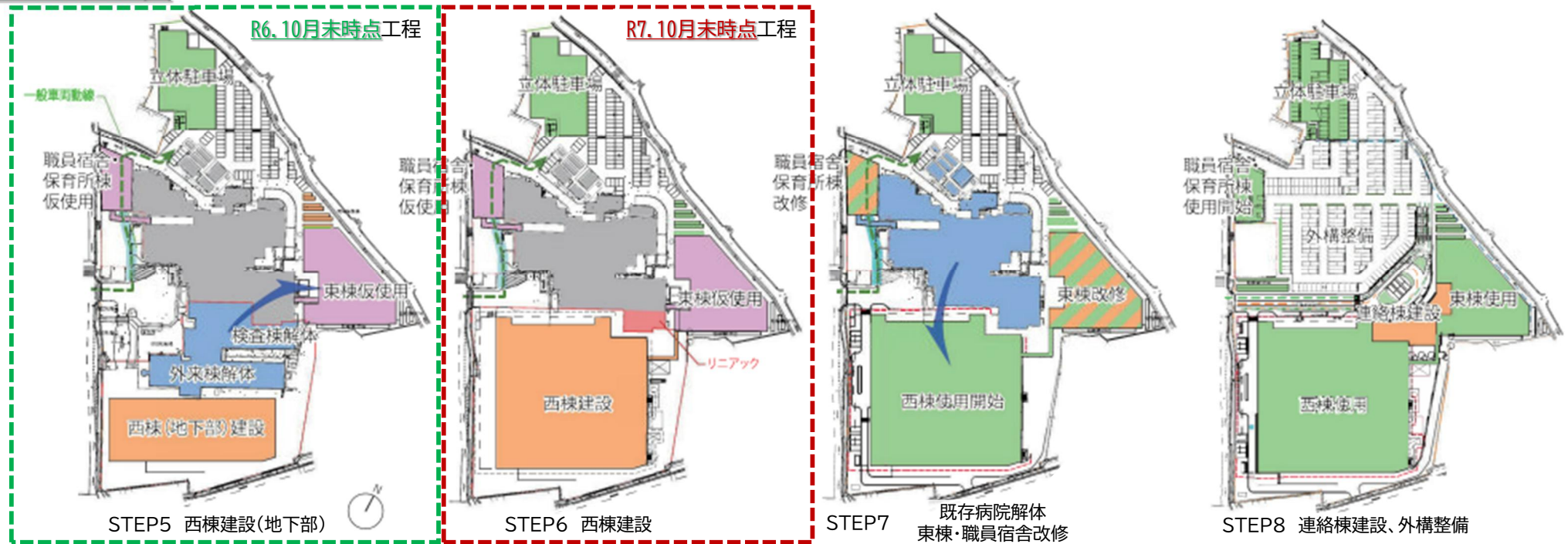
- A) 為替レートによる価格増高要因
- B) 為替レート以外による医療情報システムや医療機器の価格増高要因 など
 - ▷ ソフトウェアの高機能化、ハードウェアの価格上昇、サイバー攻撃対策に必要な機器の増加などによる医療情報システム
 - ▷ 世界的な半導体需要の拡大による半導体材料価格の上昇、人件費高騰の機器価格への転嫁などによる医療機器価格の高騰

方向性

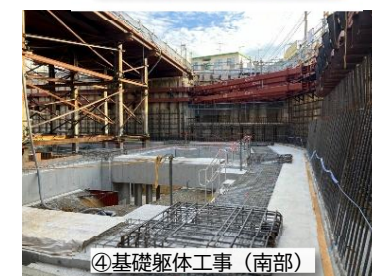
- ▷ 引き続き、社会情勢や経済動向などを注視

3. 統合新病院整備工事の進捗状況

1. ステップ図



2. 進捗状況



今後の工事内容

- 西棟整備工事
- 基礎躯体工事
- 免震装置設置
- 躯体工事

